

夏休み特別企画

中川賢一と学ぶ スタインウェイ

希望ホール（酒田市民会館）に開館から設置されているスタインウェイ（Steinway & Sons社）のピアノ。ラフマニノフをはじめ世界の名だたるピアニストたちが愛したその魅力を徹底解析！ピアニストで指揮者の中川賢一さんを講師に迎えて特別企画が開催されました。

8月1日、「ピアノを解体!? ～スタインウェイの仕組みと歴史～」と題して行われた講座は、中川さんの演奏による「組曲 展覧会の絵」（ムソルグスキー）のブロマナードで幕を開けました。この曲が作られた1874年に原型ができたというスタインウェイのピアノは、今では世界の約90%のコンサートホールに設置されています。

「創始者のスタインウェイはドイツに生まれて木工・家具職人となり、木材の目利きと木工技術を生かしてピアノを製造、後にアメリカでスタインウェイ&サンズという会社を立ち上げました」。かつてのピアノは音色が単一的で音量の差や響きがなく、スタインウェイの長男セオドアは物理学者から知識を得て「音響」の技術開発に乗り出します。その革新的な発明が、この日解体して中川さんが見せてくれた「交差弦」「駒」「リム」「響板」など音質・音響・音色を表現豊かにする構造です。こうした発明でスタインウェイ社は120もの特許を取得、その技術は現在の多くのピアノに応用されています。「スタインウェイのすばらしさは、ピアノ全体で美しい音を響かせるところ。この音にもっと多くの人から親しんでもらえたら嬉しいです」。

中川さんは午後の公開レッスンでも受講者に向けて「スタインウェイはたくさんの音量で弾いてこそ面白い」「響きを感じて弾く。するといい演奏になる」とアドバイス。受講者の演奏がいきいきと変わっていったのが印象的でした。

楽器を作る人、作曲家、演奏者、多くの音楽家によって伝えられてきたピアノの音色。11月の中川さんのリサイタルで、その音の芸術を楽しんでみませんか。



中川さんと市内イケダ楽器の調律師、高橋俊樹さんがピアノを解体して、構造からその音の響きをひも解きました。

Information

アナリーゼワークショップ

10月29日(金) 18:30開場 19:00～20:00

☑全席自由500円 高校生以下無料

※11/26の公演チケットをお持ちの方は、
チケット提示で無料

中川賢一 ピアノ・リサイタル ～天才の系譜～

11月26日(金) 18:15開場 19:00開演

☑チケット 全席指定 S席2500円 A席2000円

※U-25(公演日時時点で25歳以下の方)はS席A席とも1000円割引

チケット取り扱い／希望ホール、みずほ八文字屋、八文字屋鶴岡店、BookCityとみや